

# 公見



愛と復興

# 議会だより

No.128 平成24年8月 24日発行



|                    |   |
|--------------------|---|
| 6月第2回会議大型補正可決      | 2 |
| 災害対策特別委員会設置        | 4 |
| 消費税増税と原発反対の意思表示    | 6 |
| この町を想い、町政を問う(一般質問) | 9 |



悲願の国道289号全線開通に向け、発進!!  
(R289フルコース踏破 by WALK&CYCLE2012より)

# 10億円超補正可決

## 3億円超の給付金等大型補正

6月定例会議の一般会計補正予算は、平成23年度からの繰越金及び基金の取り崩し、原発事故に関する給付金等の関係から10億円を超える規模となりました。

例年ですと6月定例会議の一般会計補正予算規模は、近年1億円から2億円の間で推移しています。

10億円の補正予算の大きさがいかに異例の規模かお分かりいただけるとと思います。

本号では、6月会議及び6月第2回会議（定例会）、7月会議の内容をお知らせします。



企業誘致のため  
に積立

2億円 (全額町負担)



給付金支給事務の様子

放射能被害による  
給付金

3億2,700万円 (全額県負担)



水道・集落排水  
事業積金

1億8,000万円 (全額町負担)



農地・林道等  
災害関連

5,900万円 (全額町負担)

# 6月定例会 第2回会議

# 一般会計



個人住宅への克雪  
対策補助(追加分)

1,200万円 (全額町負担)



保養センター  
改修等関係

5,000万円 (全額町負担)



以前よりも医療費を少ない人数で支えることになります。

平成24年度の国保税は、国民健康保険の加入者のうち、65〜74歳の医療費が増高傾向にあり、全体の加入者は減少傾向にあります。今後の課題としては、健康づくりを行い、医療費負担を減らすことで町民への税負担を軽減することが求められています。

## 国保税率改正 賛否別れるも原案可決

この改正案  
ここが聴きたい!

問 医療費を抑えていくための健康事業はどのように考えるか?

答 既存の計画にて健康づくりを推進し、医療費を抑えたい。

問 1人当たりの税額は、課税所得によって決まるのか?

答 所得だけではなく、一律負担等も加味されている。

問 国保会計の予備費が例年より倍になっている理由は?

答 交付金の増や返還金が考えられるので予備費で調整している。

問 固定資産税の税率が1.6%であり、標準よりも0.2%多い。

答 医療福祉にその差分を充てる考えはないか? 診療所の運営に充てたい。

### 異議あり!!



#### 反対意見の要旨

高齢者から国保税を何とかしてくれとの意見を頂いている。

基金等を活用し、町民に負担の掛らない課税を願うことから反対する。

#### 賛否を問う

- |       |       |       |       |       |      |       |        |        |       |
|-------|-------|-------|-------|-------|------|-------|--------|--------|-------|
| 賛成10名 | 酒井 右一 | 藤田 信孝 | 小沼 大徳 | 中野 仁也 | 目黒 征 | 鈴木 秀一 | 新國 純一郎 | 大塚 明日香 | 石橋 孝義 |
| 反対1名  | 山岸フミ子 |       |       |       |      |       |        |        |       |



# 『災害対策特別委員会』6月設置

## 水害・放射能被害をより深く調査

議会は、議長を除く11人の議員で災害対策特別委員会（委員長：酒井 右一、副委員長：藤田 力）を設置し、豪雨災害や放射能被害からの復旧・復興対策等を調査することとしました。

また、当委員会として、豪雨災害時に発生した河川の大洪水のメカニズムを解明するため、町長に対し独自調査をするよう決議しました。

- 委員会が調査する項目
- 豪雨災害の検証及び復旧・復興
- 放射能の影響

### 委員会最初の仕事

町長に新潟・福島豪雨災害の原因究明のために町独自の調査を求め！！

災害対策特別委員会は、6月第2回会議の際に新潟・福島豪雨災害の原因究明のため、町独自の調査を行うよう決議を全会一致で可決しました。

### 決議概要

新潟・福島豪雨は只見町の歴史上まれに見る規模の大洪水をもたらした。

特に只見川流域は、豪雨に加え、上流ダムの放水、下流ダムの堆砂の影響と見られる事象によって被害が拡大し、一時陸の孤島と化した。

大洪水発生メカニズムは、本格的な原因究明は行われていない。

国や県及び電力事業者による技術検討は行われたが、その経過・結果は詳しく分からない。

議会は公正かつ客観

議会意思(決議)を受けて…

町長より「重く受け止めたい。」との発言がありました。

的な、本町独自の調査による洪水の原因究明を早急に行うことを町長に求める。

# 7月会議開催

## 役場基本設計 町独自災害調査 八木沢避難所設計 可決

# 役場新庁舎基本設計へ進む

役場本庁舎のあり方を決める

2,620万円

耐震診断の結果、著しく耐震性が低いと判断された役場本庁舎の今後の在り方を決める必要があります。

役場をどのような建物にするのか、どのような役割を持たせるのか等具体的な設計を行う前の概要設計を作成する予算が提案され、可決しました。

**問** 町民の声はいつの時点で聴くことになるのか？

**答** 町民懇談会を早いうちに開催したい。

**問** 議会は既存の公共施設への暫定移転を決めているが整合性はどうするのか？

**答** 議会の意見を伺いながら進めていく。

**問** 所信表明や前議会等に話がなかった。なぜこの時期に出すのか？



耐震強度不足により、早急な対応が必要とされる役場本庁舎

**答** 特別委員会の報告等を受けてから、提案を考えた。

豪雨災害時の独自調査を行う 1千万円

6月定例会議の際に議会意思として決議した「豪雨災害時に発生した洪水のメカニズム」の独自調査予算が7月会議に提案され、可決しました。

今後、災害対策特別委員会において独自調査の項目を精査していきます。

八木沢地区に新避難所を造る!!

設計料1,028万円

**問** 町内の避難所の在り方を見直すべきでは？

**答** 来年度防災計画を見直しの際に集会所の在り方を見直す。

**問** 避難所であれば風呂の配備等も検討されたい。

**答** 検討していきたい。



この結果...



# 消費税増税・原子力発電

## 総理大臣・担当大臣へ意見書提出

議員提案による「消費税増税をしないことを求める意見書」と「原子力発電所の再稼働反対と原子力発電ゼロを求める意見書」を審議し、原案可決としました。

### 消費税増税は 復旧・復興の足かせ

町民の暮らしは、長引く不況に加え災害等がかつてない深刻な状況にある。

只見町においては、新潟・福島豪雨の災害復旧が始まったばかりであり、この時期に消費税が増税されれば被災地復興の足かせになることや生活再建など町民の暮らしに大打撃を与えることになる。

よって政府には、次の事項について措置されるよう、要請する。



町民の生活、地域経済に深刻な打撃を与える消費税を増税しないことを強く要望する。

要請事項

買えていたものが買えなくなるかも・・・

## 原発再稼働反対と 原発ゼロを求める

東京電力福島第一原発事故は、原子力発電の安全神話を根底から覆すものであり、平和な家庭や平穏な地域が一瞬で無くなることを全国民が身を持って得た教訓である。

政府は、今年の夏の電力需給の逼迫を背景に、関西電力大飯原子力発電3号機及び4号機の稼働を表明した。

原発事故の被災県民として慎重に判断されることを強く要望し、早期の再稼働には強く反対する。

また、地球環境に配慮した再生可能エネルギー等による電力発電の多様化を推進し、安定的な電力供給が行われるよう、強い指導力を発揮されることを求める。



町内各地に設置された放射線量測定機

# 保育施設の改善を急げ

総務厚生

課題解決を望む

意見・3地区保育所

入所児童に合わせて職員、嘱託を配置し適正な運営が行われているが、施設及び遊具に修繕箇所が見受けられました。

速やかに点検確認し対応を検討していきます。

意見・地区センター

地域が抱えている課題等をふまえ、活力ある地域づくりに向けての取り組みに期待します。

意見・朝日診療所

最新の機器が整備されている中で、各医師の熱意ある診療により町民の健康管理をされている。接遇に対しては、様々な工夫をされ



只見地区センターを視察

意見・高齢者福祉施設  
(いぶし苑)

取り組んでおるところもあり、苦情は確認されませんでした。

施設は充実しているが運営面や介護の現場においては、様々な面で苦慮されています。

高齢化で、老々介護では行き詰まり、待機者が年々増えて行く状況です。

待機者が多い現状の中で、施設の建設も視野に入れた取り組みを検討すべきと考えます。

# 林道工事入札不調を懸念

経済文教

林道工事

発生率は14%

担当課長より工事発注状況及び現場進捗状況について説明を受けました。

林道災害工事の発注率は、14%台と低い状況にあります。

これは町内全域の災害個所の多さと業者の受注力不

復旧の兆しあり  
今後も調査を継続

朝日・只見地区の災害箇所を中心に現場確認を行った。農地災害、公共災害ともに復旧状況を確認できた。

当委員会としても、一日でも早い平穏な只見町になること願ひ、進捗状況については今後も継続して調査していきます。



災害箇所を視察

足等の理由で入札が不調になったと見受けられます。また、発注率の低さと、施工方法等から見て3年間の期間では復旧が難しいことから、施工年限の柔軟な適用等について関係機関に強く要望する必要があります。

発注と受注がなければ復旧、復興には繋がりません。町当局には一層の努力を働きかけます。

# シリーズ 議会基本条例

## 第2回

前号では議会基本条例が制定されたことをお知らせし、その基本理念を紹介しました。

今回は、議会基本条例に定める議会と町当局の役割を紹介します。

当町における課題は少子・過疎・高齢化問題の他に雇用や災害復旧等山積しています。只見町として行う事業や進むべき道を最終的に決めるのは議会です。

議会基本条例は、より良い結果を導き出すために議会と町当局の役割を明確にしています。

### 町の将来を決める責任は重大

大きな自治体は「大きな財源」を用いて事業を推進することが出来ますが、小さな自治体は大きな自治体ほどの財源はありません。しかし、そのような中でも最大限の効果が

表れる事業を町民に提供する必要があります。政策の善し悪しを判断し、決定することは町の在り方を議会が決定することになり、その責任は重大です。



### 町長と善き政治を競う

議会と町長は、それぞれの機能と役割を活かし、政策の立案、決定、執行及び評価等の論点及び争点を明確にしていきます。

議会と町長は、より良い只見町をつくるために町長と善き政治を競い合い、協力し合うことを常に意識して、町政を運営していきます。

### 議会前の事前協議に充実を

活力のある地域づくりのために必要な政策を立案して決定し、推進していきます。

議会の活動に当たっては、町民に情報を提供し、意見を頂き、町

民と共にまちづくりをしていきます。

次号では、具体的な活動等について紹介します。

#### 事前協議すべき主な項目

- ☑政策の必要性 (なぜやるのか?)
- ☑政策案の検討経過及び結果 (手順を踏んで検討したのか?)
- ☑類似町村との比較 (只見町ばかり費用が高いことはないか?)
- ☑政策案の実施に関する財源処置 (補助金等の充当はあるのか?)
- ☑将来にわたる費用計算 (孫の世代でもやっていけるのか?)

等



# 一般質問 10人の議員が登壇

- 1 大塚純一郎 ……10
  - ・役場本庁舎暫定移転すべき
- 2 藤田 力 ……11
  - ・風評被害 損害賠償の手助けを
  - ・ダム災害の再検証と防災の日はどうする
- 3 中野 大徳 ……12
  - ・新潟・福島豪雨災害の復旧の現状課題は
- 4 目黒 仁也 ……13
  - ・復旧後の只見町の将来像を示すべき
- 5 小沼 信孝 ……14
  - ・従来の避難施設は安全か
  - ・町内の放射線量調査と対応について
- 6 鈴木 征 ……15
  - ・若者の雇用確保と医師確保を問う
  - ・災害復旧後のまちづくりビジョンは
- 7 酒井 右一 ……16
  - ・豪雨災害被害の報告書の信憑性は
- 8 石橋 明日香 ……17
  - ・屋内での水耕栽培設備の導入の考えは
  - ・町の景観を美しくする取り組みについて
- 9 新國 秀一 ……18
  - ・電源開発に対する町としての今後の対応は
- 10 山岸 フミ子 ……19
  - ・全町の放射性物質調査の考えは
  - ・学校給食を無料化すべき

※質問した順に掲載しております。

## この町を想い、 町政を問う

一般質問者席

## 役場本庁舎暫定移転すべき

おおつか じゅんいちろう  
大塚 純一郎 議員

費用と時間をかける

時期ではない

—— 目黒町長



大塚議員

平成23年12月本会議で、「町民及び職員の生命と安全を早急に確保する必要があり。人命第一に考えて役場本庁舎機能を安全なほかの公共施設に速やかに暫定移転すべき」との

問いに、「災害復旧業務を最優先に取り組むので暫定移転の実施についてはいつできるか、いつやるかということはない。」と

再度確認するが、本当にやらないのか？

目黒町長

安全対策が大事であるという指摘は認識している。

地震発生時に備える心得を周知している。豪雨災害からの復旧・復興が優先課題であり、1日も早く生活環境の回復に全力を尽くす時期と認識している。

町民の実情を承知しながら、庁舎の暫定移転のために時間と費用をかける時期ではないと判断する。

人命尊重を考えれば、地域計画の中で私は新庁舎建設を考えている。



地震により倒壊が心配される役場本庁舎内

大塚議員

職員は昼夜を問わず、災害関連の膨大な業務対応が求められ、災害復旧業務を最優先に取り組むと再三答弁している。

危機管理の認識不足、人命軽視の考え方だと考える。

遅くとも昨年10月末までに安全が確認できる公共施設へ移転するはずだったが、いつまでたっても実行されないのは理解できない。

公共施設等再配置調査特別委員会報告で、「役場庁舎の危険性を改めて認識。危険施設から緊急且つ速やかに暫定移転すべし、人命が第一。」と再三指摘している。

この報告を町長はどう受け止めているのか？

只見町地域計画審議会の答申で、基本計画の具体的な推進にあた

っては、広く町民に理解を求め、町民の声が反映されるように充分に配慮されたいとの意見が付されている。役場のあり方というものを皆で考えるべきだ。

目黒町長

これから、どういう町にしていくかということは、大いに議論しなければいけない。

議会の意思と考え方が相拮抗するようなときには、町長としての責任で判断するというのが質問に対する答弁である。

藤田議員

只見町でも原発風評による実被害が多額と予想される。

山菜王国只見。その山菜であるぜんまいとわらびの生産が激減している。

組織を持たないこうした生産者に対し町は東京電力への損害賠償の手助けをすべきと考えるが、町長の考えを問う。

県原子力損害対策協議会を通じて被害額の全額賠償を求めていく。

生産者に対しては、速やかに賠償金の支払いを受ける為、売上げ伝票等、関係書類の保管等呼びかけていきたい。

藤田議員

原発事故に加え、豪雨災害により六十里峠・JR只見線が遮断されたことにより町内を訪れる観光客が激減している。

観光客が来ないために町内で売れていた岩魚・味噌・山菜・きのこ・お菓子など村起こ

し産業というべき商品が売れず、苦しい経営が続いている。その対策を問う。

目黒町長

本町への観光客は減少の一途を辿っている。豪雨災害工事で滞在者は増加しており一定の経済効果はあるものの町内での販売量には限界があり、売り上げも減少している。

昨年、町農商工風評被害対策協議会を立ち上げ、放射線量の測定結果の公表発信、柏市アンテナショップの開催、物産展や観光イベントへの参加支援等

を実施してきた。今年も昨年同様に開

設しPRと経済効果を図っていく。

## 防災 ダム災害の再検証と 防災の日はどうする ——再検証は行わない 防災の日は重要と認識

を委託する考えはない。

藤田議員

7月29日を防災の日とするよう、3月の議会で提案した。検討結果を問う。

藤田議員

ダム災害の検証を民間の研究機関へ委託すべきと考えるが、町長の考えを問う。

う必要があることから、

目黒町長

委託先は検討の中である。大学等、第三者による公正な評価を経て行

目黒町長

大変重要なことと認識している。地域の方々と共に連絡・避難体制の確認等を図っていきたい。

全町的な防災訓練等は、時期や規模等を検討する。

7月29日を防災の日とする考えはない。

# 風評被害 損害賠償の手助けを

ふじ 藤田 ちから 力議員

## 対策協議会で対応する

——目黒町長



今は野菜出荷の最盛期

## 新潟・福島豪雨災害の復旧の現状課題は

なかのり  
中野大徳議員関係機関と連携を図り  
早期復旧に努める——目黒町長

**中野議員**  
7月29日の新潟・福島豪雨から1年を迎えようとしている。災害復旧の現状と課題を問う。

**目黒町長**

被災した町道等は応急盛土や集落の協力による土砂撤去等を行ってきた。

今般の災害からの復興は、町民の生命と財産を守り、安心した生活が取り戻されるよう一日も早い被災箇所への復旧と災害の防止が求められていると認識している。

今年から復旧工事も

本格化している。全国的に震災、津波、豪雨、台風等による大きな被害により、本町の復旧工事に支障が出ている現状もあるが関係機関と連携を図りながら早期復旧に努めていく。

**中野議員**

JR只見線の復旧について、復旧見通しと近隣町村との連携及び現状の問題点を問う。

**目黒町長**

現在、JR只見線は大白川駅・会津川口駅間が不通である。

只見・会津川口駅間



線路が不通のためトンネルに停車中

についてはJRによる代行バスが運行されている。

只見・大白川駅間については、国道復旧が10月との情報を受け、

沿線の安全対策工事を進めから鉄道による再開通をするという発表があった。

只見駅・会津川口駅間の鉄道による再開通

の見通しは、全くたっていない。

理由としては、鉄橋の流失・損傷等の被害が極めて大きく、安全対策を考えた場合、同じ軌道方線での復旧は困難であるとの認識をJRは示している。加えて赤字路線である只見線の運営状況等もその背景にあると考える。近隣町村との連携は、只見川沿線の町村や魚沼市等と連携し、要望活動を行っている。

**中野議員**

大規模に流出した農地について復旧・復興の見通しを問う。

**目黒町長**

農地災害42箇所、施設災害54箇所、計96箇所の査定決定があった。

農地災害42箇所のうち、黒谷川、叶津川、蒲生川沿線の農地が基盤流出等により大規模に被災している。蒲生川、黒谷川沿線につい

ては本年の5月までに発注済である。

叶津川沿線、一部只見川沿線については、一部区間、八木沢地区において県の河川改修計画が確定していないことから、農地復旧だけを先行できない状況にある。

県の河川改修計画確定後に速やかに町の農地災害復旧計画との調整を図り対応したい。

**中野議員**

集会施設の整備計画を問う。

**目黒町長**

流出した集会所については、集落所有の建物である。

地区内での行事や様々な面で不便があると考える。

集会所の再建にあたっては、場所の選定や避難所機能のあり方を踏まえ、関係者と協議し、一日も早く対応していく。

### 目黒議員

豪雨災害後の町民の不安は復旧後の只見の復興と将来だ。今の計画を見直し新たな将来ビジョンを町民に示すべきだ。

また、この災害を機に全町的な土地の利計画をもう一度見直し復興事業に備えるべきである。

町長の考えを問う。

### 目黒町長

ランドデザインは、第6次振興計画で示している。さらに、昨年9月に復興基本方針を示し再生に取り組んでいる。また、今後はユ

### 目黒議員

ネスコエコパークの登録への取り組みなどもおこない農林業や観光商工を一体とした地域戦略を図っていく。

土地利用計画は、平成5年9月に策定以後見直してない。指摘のとおり今後を見据えた長期的計画を早期に検討する。

### 目黒議員

100年に一度の大災害に今の計画で対応しきれぬのか？現在の計画を見直して新たな路線を町民に示すべきだ。

将来只見町は、奥会津の中核として滞在型

観光を一つの目標としている。

その消費の受皿となる施設整備、道路改良、景観対策などの環境保全事業などはほとんどが土地利用に係わる事業だ。

規制措置を含めた土地の利用のあり方を今から整理しておくことが急務だ。

### 総務企画課長

今の振興計画は1年かけ作り上げたものである。そこから生まれたのが基本計画であり、その方向性には誤りはないと考える。

土地利用計画について

では、国や県との整合性、地域住民の声を聴きながら議員言われるように今後進めていく。

### 目黒議員

計画の理念は変えることはないが中身の施策は変更するべきだ。

社会状況の変化で見直すとの明記があり、これほど大きな変化はない。

土地利用計画は、今後計画がなかったために事業が推進できなかったということがないよう推進されたい。

### 総務企画課長

基本計画を補完・補

強する意味で昨年豪雨災害を受けての復興基本方針を策定し、お示しし、実施計画にあげて予算編成し現在に至っている。

ご理解願いたい。

### 目黒町長

現在の計画は、先人達が築いてこられた伝統文化、歴史を新たな産業へ結びつけていくという気高い理念に基づいたものと思っ

ている。新たな補足提案があれば踏まえて取り組んでいく。

ていくほどの大きな出来事。八十里越の先には日本海、さらにその先にアジアがあるというぐらゐの想いを持って、課題に取り組んでいく。

### 目黒議員

今、道路、橋などの生活インフラの復旧事業が盛んに進められているが、一方で将来の復興のための計画の重要性を申し上げたかった。

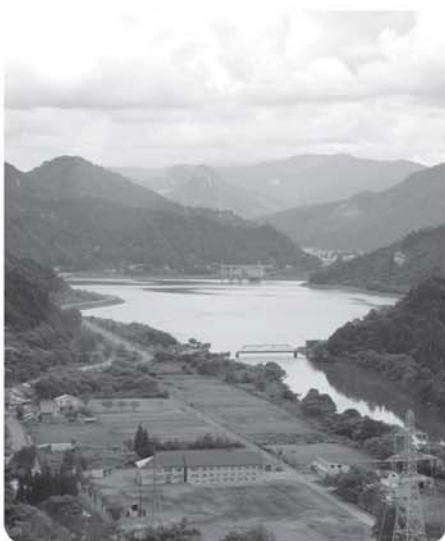
是非、重点に置き、復興に向けた準備を願いたい。

# 復旧後の只見町の将来像を示すべき

目黒 仁也 議員

## 復興基本方針で再成を

目黒町長



新しい只見町を考える時期 (田子倉ダムより)

# 従来の避難施設は安全か



小沼 信孝 議員  
おぬま のぶ たか

## 来年度防災計画の見直しを計画している ——目黒町長

を行う。

来年度防災計画の見直しを計画しているの  
で、集落や関係機関の  
意見を聴き、見直しを  
考えている。

の協議を進めていき  
たい。

か？

町民生活課長

「災害時に使えますよ」  
といった広報も行って  
いきたい。

7月29日に向け避難  
経路、連絡先、持ち出  
し品の確認等を家庭、  
職場、地域全体で考え  
ていただくよう広報し  
ていきたい。

産業振興課長



土砂は建物を飲み込む。避難施設は…

目黒町長

当然いろんな箇所か  
ら出た山菜、魚類も1  
点出たならば上、下流  
を含め、地域的な事を、  
町独自でやるべきこと  
はやっていく。

こまめなモニタリン  
グをしながら、出た情  
報はきちんと開示して  
いく。

きちんとした対応が  
只見町の取り組みだと  
思っている。

この他に、「医療・  
福祉施設の緊急時の備  
え」について質問があ  
りました。

小沼議員

昨年の豪雨災害を受  
け、ハザードマップの  
見直しとなったが、避  
難場所として適さない  
ところも見受けられる。  
どのように調査選定  
をしたのか？

今後安心できる避難  
所の確保等の考えはあ  
るのか？

目黒町長

避難所については各  
集落の集会所等を避難  
所と定めてきた。

昨年の豪雨災害時指  
定した避難所が被災す  
る事例が発生し、被災  
した避難所については、  
新たな避難場所の選定

小沼議員

昨年の豪雨災害時、  
帰宅困難な方がいたと  
聞いた。

公共施設等が避難所  
として迅速に使用でき、  
常設で「緊急時避難場  
所」といった看板等を  
取り付ける等の考えは  
ないか？

町民生活課長

帰宅困難者のための、  
施設利用、看板設置等

### 放射能

## 町内の放射線量調査と 対応について

——山や河川、土壌など計画的に  
測定し情報提供する

小沼議員

国が定めた基準値を  
超える物が採取され、  
今後山や川で安心して

採取できるための取り  
組みをする考えがある  
か？

小沼議員

風評被害や実害等発  
生し自然首都只見のブ  
ランドが傷つき今後国、  
東電に対してしっかり  
とした対応をされたい。

## 鈴木議員

4年前の町長選挙の折に示された公約の中から2点を問う。

1点目、若者の働き場の確保について、これからの只見町の盛衰を左右すると考える。

町長は、雇用確保に向けて今後どのような取り組みをしていくのか？

2点目、医師の確保については各医大から医師派遣をいただいているが、現状の課題と今後の見通しを問う。

## 目黒町長

若者の働き場の確保については、各緊急雇



用事業を活用し、雇用の確保・維持に努める。

この度、県事業である「ふくしま産業復興企業立地補助金」に町内事業所2社が応募され、1社が採択、もう1社が保留扱いとなっている。

採択となった事業所は、新規採用者を9名予定しており、町内の雇用拡大に一定の効果が発揮される見通しがついた。

また、農業は町の基幹産業であり、その多様な生産は、農商工連携に繋がっていくものと考えられる。農地災害の復旧を図

りつつ、働き場としての農業の再生にも取り組んでいきたい。

医師の確保対策については、地域の方々に地域医療の現状と診療所の役割を理解頂くこ

とも必要である。

今後も福島県立医大等からの研修受け入れや各医療機関との連携を密にし、医療体制の充実に取り組む。

## 災害復旧後のまちづくりビジョンは「自然首都只見」の価値を発信する

### 鈴木議員

災害復旧事業後のまちづくりビジョンについて、今から産業振興対策等の取り組みをしなければ町の衰退は更に進み深刻化すると考

える。

この考えをどのように受け止め、どのようなまちづくりを進めていくのか？

また、役場本庁舎の位置について基本構想

を示す時期にきたのではないかと？

只見保養センターの今後の運営を問う。

## 目黒町長

町づくりビジョンについては、第6次只見町振興計画で方向性が示されており、「自然首都只見」の価値を町外に発信している。

今後は、当地域の自然や動植物、民族等の各地を国際的なブランドとしたい。それを基本に観光・農林業・製造業等を一貫した戦略プログラムのもとで産

業の多角的振興を図っていく。

役場本庁舎については、現庁舎の危険性、防災庁舎の必要性、地域活性化の拠点として庁舎の必要性等様々な経緯から現庁舎の同一敷地内に新築したい。

只見保養センターについては、改修予算を本議会に提案した。

只見養魚場については、指定管理者と協議し検討したい。

この他に、「町長選への出馬」について質問がありました。

# 若者の雇用確保と医師確保を問う

## 雇用確保の施策講じる

## 県医大等と連携を密に——目黒町長

鈴木 木 征議員



大勢の患者さんが待つ朝日診療所

# 豪雨災害被害の報告書の信憑性は

酒井 右一 議員



## 信憑性は保たれている

目黒 町長

酒井議員

12月会議で私の質問に対し、「技術検討会を通して我々サイドでできること、また申し上げなければならぬことも含めて取り掛かっていきたい」とし、町長の判断が示されていない。

また、町長は新潟・福島豪雨災害について、国に対し、我々は責任の所在を追究しないという旨の意見書を提出している。  
なぜこのような意思決定をしたか？

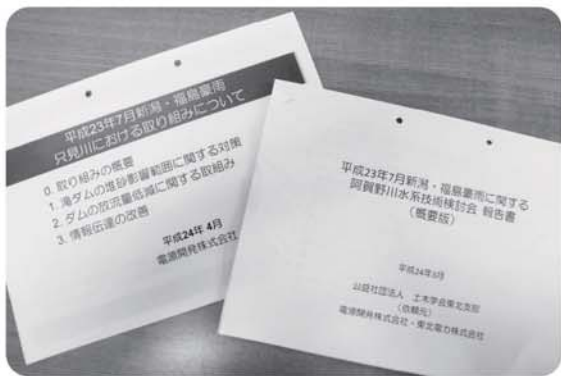
目黒町長

第三者による技術検討会等の結論を踏まえ対応すると申し上げてきた。  
具体的な確証がない

中では町として公共の利益を損ねる懸念があったので、その結論を待ちたいと申し上げた。  
電源開発には、実態への理解と発電ダムの治水に対しての見解や各種データの情報開示等を求めた。  
国に対し、我々は発電ダムの責任の所在を追求しないとす意見書の提出については、私の真意及び事実と違うので明確に否定する。

酒井議員

技術検討会議の中で危害の告知の義務についてはどのような質疑があったのか？



報告された調査書

副町長

ダムの操作規程に照らし合わせて検証された。結果、操作規程通りの措置であった見解が示された。

副町長  
検証した結

酒井議員  
痕跡が消えてしまわないうちに再調査をされたい。

果が、技術検討会の報告となつている。調査結果を踏まえ、必要な対応をしていきたい。

酒井議員

国に対し「我々は、責任の所在を追究するのではなく、二度と同じレベルの洪水量で被災しない取り組みを官民一体となつて取り組みたい。」との公文書がある。

被災者住民や議会に示さず、国に提出したことは納得できない。

目黒町長

我々は責任追究をしないのではない。  
情報連絡会として責任追究するのではなく、被災しない取り組みを官民一体となつて行うべきと考える。

情報連絡会のあり方に対し意見を求められたので、見解を述べた。

酒井議員

電源開発は、ダム災

害を疑われている会社である。

調査機関の役員には電力会社の役員や各県の土木担当課長等が役員となつている。

この調査機関の関西支部には電源開発の関係者が役員になつている。

全て我々被災者の相手側の立場の者がこの役員である。

目黒町長

信憑性は、保たれていると考える。

調整池の堆砂に関して、因果関係は認めている。

皆が同じ土俵に上がり、将来に対して向かっていかなければいけないと考える。

酒井議員

国や電源開発、電気事業者と独立した考え方を持つて調査できるか非常に疑問の点を抱かざるを得ないので、再調査をされたい。



石橋議員

給食野菜の放射能からの安全性を確保し、冬季間の野菜収穫を可能にするため、屋内水耕栽培設備の導入の考えは？

目黒町長

冬季間に営農活動ができない点が町内での農業振興の大きな課題であり、水耕栽培は課題解決の有効な手立ての一つと考える。

しかし、育成できる作物に制限があり、室温管理コストが高む等の問題もあり、多様な視点から検討すべきと考える。

現時点では使用可能な空き物件を早急に特定することが難しい。

また、食育の観点からは本来、自然環境を肌で感じながら、太陽の下、土にまみれて食の大切さを学ばせる環境が理想である。

石橋議員

空き物件の問題が解決したら導入を検討するの？

産業振興課長

今すぐには難しいが、昨年は柏市にある植物工場の拠点へ視察に行っており、今後はより交流を深めて取り組ん

でいきたい。冬季間の雇用確保の面でも有効な策と考えるので、今後も引き続き検討を進めていく。

石橋議員

水耕栽培のメリットは、1. 無農薬栽培が可能。2. 土を使わず

土壌中の放射性物質の影響を受けない。3. 高齢者や障がい者でも作業ができ、雇用確保に繋がる。4. 連作障害を起こさない。5. 短期間で育ち出荷できる。6. 気候の影響を受けない。7. 病原菌や害虫被害が無い。8. 量・形・味・栄養素な

ど一定の品質での供給が可能。9. 栽培技術を標準化でき、農業知識が乏しいパート・アルバイトでも作業可能。

10. 根菜類以外のものはほぼ全て栽培可能。11. 水と電気の供給さえあれば設置場所を選ばない。

空きスペースを利用して実験実施していくことも可能で、大規模な植物工場に至る前にできることがあるのでは？

産業振興課長

作業負担の軽減面で非常に有効と考える。小規模なものからの

実証実験に可能性を感じる。

初期投資費用・ランニングコスト・輸送コ

### 景観

## 町の景観を美しくする取り組みについて —— 景観条例の制定と 景観行政団体への移行を検討する

石橋議員

町の景観を美しく、かつ守るために、次の取り組みへの検討を問う。

1. 景観法に基づく景観行政団体となること。
2. 茅葺き屋根家屋の保存への取り組み。
3. 家屋の屋根塗装の色や壁材についてのより厳格な条例整備。

目黒町長

現在、町はユネスコエコパーク登録の取り組みを通じて町の価値を高めブランド化を図っていくための取り組みを進めており、良好な景観の形成は地域の魅力向上に大きく貢献するものと認識している。

ストが課題だが、今後の技術革新等で改善される可能性に期待し、検討したい。

茅葺屋根の家屋の問題も含め、改めてこれまでの取り組みを見直していく必要がある。

景観法を踏まえ、より主体性・実効性のある景観条例の制定と景観行政団体への移行について検討を行い、自然首都・只見にふさわしい景観づくりをユネスコエコパーク事業の推進と併せて取り組んでいきたい。

## 屋内での水耕栽培設備の導入の考えは

石橋 明日香 議員



冬季間の雇用確保の面で有望であり、  
検討を進める

目黒町長

# 電源開発に対する町としての今後の対応は

新 國 秀 一 議員



## 通知通報などの適切な 実施を求める

—— 目黒町長

新國議員

阿賀野川水系技術検討会の報告を踏まえて、町長は改めて町の対応を検討していくと3月の議会で答弁している。今後の様な対応をとるのか？

新國議員

昭和54年2月5日にダム放流1時間前に電源開発から町へ通報し、通報を受けた町は広報無線で町民に知らせたと確認している。

また、町の防災計画の一部に、町は田子倉電力所より放流の通報を受けた時は町民に周知すると、明確に書いてある。書いてあるという事実をどう考えるか？

目黒町長

堆砂により被害が拡大したと考えられる流域については補償も含め対応を求めていく。奥只見ダム、田子倉ダムの貯留水位を下げた運用、通知通報の措置などについて、適切に実施されるよう求めていく。

副町長

確かに水防計画にはそのような記載がある。単にダムから流れ出た水だけでなく、伊南



電源開発による議会説明会

川の水量など、全体を踏まえた町民への周知・勧告を行った。

新國議員

水防計画にあるダムの放流通告が何度か来

ていることから、町民に「ダム放流する。」と周知しなければならぬ責任を町は負っているのでは？

一度もダム放流について町は広報していない。

副町長

ダム放流の状況について周知しないということが、町民への情報提供という意味では反省すべき点はある。

新國議員

考えられないような水位になった段階から、ダム放流があると知らされていけば、少なくとも車を水に浸すことはなかった。買ったばかりのテレビを避難させられた。

この告知をしなかったという事はかなりの責任が町にもあると考える。

水防計画の周知については、町が電源開発から依頼を承諾して水

防計画に組み込んだのか？

副町長

協定を結んだ事実は確認できなかったことから全ては推測になる。今後に向けて、改善をしていくということと新たに協定を結びたいと考える。

新國議員

ダムの放水を知らせてほしかった、水防計画が上手く実施されると良かったと町民は思うのではないかと考える。町の失策であったのではないかと考える。

この他に、「復旧工事の完了見込み」と「隣の郷湯らりの経営改善」について質問がありました。

山岸議員

町民の安全・安心・健康を守る上で本格的な調査が必要と考える。どのような調査・対策が行われているか？

空間線量から山間地・沢・川・畑の地表面・土壌など調べる必要があり、雪解け後に線量測定を行うとのことだったが、その経過を問う。

保健福祉課長

一番放射線に影響されやすい子供達の生活圏域である学校、プールなどの詳細な調査を実施した。

今年5月から6月にかけて73地点を調査した。

数値は昨年と同等、または減少の傾向にある。

データの公表仕方を検討している。不安のないように対応したい。

山岸議員

風評被害払しょくのためにも細やかな検査と情報提供が必要と考える。

目黒町長

只見町は安全な地域として認識している。検査の結果は即座に発表する。

山岸議員

原発事故に関する賠償について、請求先を

どのように考えているか？

副町長

東京電力に請求する。

山岸議員

子供への影響について保護者の間でストレスなどの問題はないか？

教育長

保護者会などで説明している。さらに心配される方には個別で対応している。

山岸議員

子供たちの健全な未来のために安心して生活できる環境づくりを

すべき。

町に財政負担が掛ら

### 給食 学校給食を無料化すべき

山岸議員

若者定住や地域活性化を図り人口増加を考える必要がある。そのために子育てしやすい環境づくりを思い切っ

て行うべき。

10月から国の施策として18歳までの医療費が無料化されることから、町で予定していた医療費分を充当し、給食無料化の施策を行う

ってはどうか？

ないようにしっかりと賠償請求されたい。

目黒町長

学校給食法により保護者の負担となっている。本町も法の理念に基づき給食運営を行う。

山岸議員

兵庫県の相生市（あいおいし）では人口減の一途を辿っているが思い切った施策を実施することのでその一つが給食の無料化である。

その結果、転出者は

過去最少となった。

予算は全体の1%であるため固定経費として継続できるとのこと。行政の姿勢ひとつで実現可能であることを実証している。

教育長

町と保護者お互いに負担することで考えていきたい。

山岸議員

子供3人で給食費が月に2万円〜2万5千円掛ると聞いた。

子育てには色々な面で費用が掛る。

今後とも給食費の無料化を求めていく。

# 全町の放射性物質調査の考えは

山岸 福三子 議員

5・6月実施

線量は減少傾向

目黒町長



食品の放射線量を測定

町政を問う

# 坂田・布沢区より陳情あり

坂田区より

官公造林の伐採反対に関する陳情がありました。

布沢区

林道整備に関する陳情がありました。

この陳情は、担当委員会に付託し、調査を経て議会意思を決定していきます。



様々な視点から調査をしていきます。

# ん!?あれは何でだや?

町民の方々より議員に寄せられた疑問についてお答えするコーナーを本号より設けました。

今回は、旧只見地区センターが工事していることに疑問を持つ意見がありましたのでお答えします。

**使用していない施設の  
アスベストを除去するの?**  
施設にアスベストがあると改築も取り壊しも出来ません。そのため、今後町としての方針を決めていくためにも、まず除去作業をしなければいけません。



『現在、只見地区センターは、施設のアスベストを除去しています。』

## 南会津郡議員大会in松枝岐

### 3件の要望を提案

1. 河川流水占用料の還元交付を求める
2. 新瀧・福島豪雨災害の早期復興支援
3. 県道小林館の川線の整備と冬期間の完全通行確保

河川流水占用料とは、地域固有の財産である河川を使っていることで発生する料金のことです。

法律上、都道府県に納付されるため、福島県が地域振興のために関係する自治体へ交付金制度を創設し、地域振興を図るよう要望しました。

昨年の新瀧・福島豪雨災害や風評被害で観光客減に追い打ちをかけています。

早期の復旧復興がなされなければ只見町に将来はないと考え、土石流対策、JR只見線の早期開通、ダム洪水調整対策を要望しました。

国道が雪崩や落石等により通行が不能となった場合、通行や緊急搬送が出来ない等の支障があることから完全通行確保を要望しました。



豪雨による河川の反乱で国道の橋が曲がり、交通に支障をきたした。

# 町民の皆さんの意見を 聴かせてくんな

～議員の突撃インタビュー～



五十嵐 一さん

八木沢区長を務められており、6月定例会議の際に災害に関する質問があるとのことで傍聴されたことをきっかけにインタビューしました。

## 議会を傍聴された感想はいかがですか？

復旧・復興の質問を聴きたくて傍聴した。良い話が聴けて良かった。

良い質問と良い答弁だったと思う。傍聴して、議会を身近に感じた。今後も行ってみたい。

議場内の音の通りが良くなって聴こえない時があった。多くの人に傍聴してほしいので対応してほしい。

## 復旧・復興についてどのような想いがありますか？

堤防を早く造ってもらいたい。  
水害だけでなく、放射能の影響も心配だ。



堤防を造成中

今回より町民の方々に町政や議会等に対してどのように考えているのかを議会広報特別委員会の委員が直接お伺いして、色々な想いを聴いてきましたのでご紹介します。

傍聴者が聴きやすいようにするには、音響に関する提言については、

委員会を通じて検討するよう働きかけます。

## 議会広報特別委員会より

貴重なご意見ありがとうございました。

対応します。

## 議会傍聴はされたことありますか？

あります。模擬議会をやったこともあって、大体の流れもわかります。

## 議会と町当局の印象は？

議会からは質問だけでなく、町に対して提案をしてほしい。

## これからはどんな政策が必要と思いますか？

若者定住対策と少子化対策と思う。  
他市町村を参考に町内で大規模な飲み会をするぐらいのイベントをすべき。  
また、特別な出会いだけでなく、日常の出会いが大切と思う。  
一つ一つの会議は多くあるが、横に繋がっていないと思う。連携すれば大きな効果を生む可能性があるので検討してもらいたい。

## 議会に求めることは？

議員同士の討論会をしてもらいたい。  
選挙の前だけでなく、任期中に何回かやってもらいたい。



鈴木 小枝子さん  
只見地区の婦人会長を務められている他、多岐に亘って様々な役職に就いておられます。そんな経験からご意見を頂きました。

## 次号の議会だより表紙を



# 大 募 集

町民と議会との接点でもある議会だより。町民の皆さんも参加してみませんか？

当委員会では町民と議会の距離感を縮める企画として、議会だより表紙写真を募集します。

**町民のイキイキとした表情の写真**を常に（締切りなし）募集していますので、どしどしご応募ください。

### 撮影要件

- デジタルカメラで縦型の撮影であること
- 撮影したデータの容量が3MB以上であること
- 撮影のサイズはLサイズ以上であること
- 写真の説明が添付されていること
- 提供者及び被写体は只見町民であること
- 被写体が人物の場合、その人物の理解を得ていること

### その他

- 応募された作品の著作権は、只見町議会に帰属します。
- 提供いただいた写真またはそのデータはお返ししませんのでご了承ください。

選考は、議会広報特別委員会で行います。表紙に耐えるものでなければ非該当とし、別に用意したものを使用します。

# あなたの意見が議会を変える

今回の議会だよりは、  
※ なじよだったかない？

ご意見のある方は、お電話、手紙等でも結構です。メール(gikai@town.tadami.lg.jp)での受け付けも行っています。

直接意見を伝えたい場合は、議員と事務局が直接お伺いします。

### 議会議事録公開スタート

議会ホームページで6月定例会議からの議会議事録が公開されます。

現在作成中ですので作成後は議会ホームページ等でお知らせします。

※ なじよだったかない？・・・  
只見町の方で「どうでしたか？」という意味

## 議会の主な動き

|         |                    |         |                          |
|---------|--------------------|---------|--------------------------|
| 24.4. 9 | 県立高校入学式            | 24.6. 4 | 魚沼市議会来庁                  |
| 24.4.13 | 只見町納税貯蓄組合連合会総会     | 24.6. 5 | 経済文教常任委員会                |
| 24.4.19 | 平成20年4月改選時当選議員任期満了 | 24.6. 6 | 黒谷川・叶津川改良復旧事業起工式及び安全祈願祭  |
| 24.4.20 | 平成24年只見町議会4月会議     | 24.6.19 | 只見町議会6月第2回会議開会           |
| 24.4.27 | 只見町商工会第52回通常総代会    | 24.7. 5 | 第63回南会津地方町村議会議員大会        |
| 24.5. 9 | 会津総合開発協議会南会津地方部会   | 24.7. 6 | 災害対策特別委員会                |
| 24.5.21 | 新人議員研修会            |         | 議会広報特別委員会                |
| 24.5.22 | 会津総合開発協議会定例総会      | 24.7.11 | 全国森林環境税創設促進議員連盟総会        |
| 24.5.24 | 総務厚生常任委員会          | 24.7.17 | 只見町議会7月会議                |
| 24.5.28 | 小野町議会来庁            | 24.7.23 | 国道289号建設期成同盟会事業説明会総会～24日 |
| 24.6. 1 | 只見町議会6月会議          | 24.7.30 | 議会広報等別委員会研修～31日          |

### 編集後記

新しい議会となり、初の議会だより。少し発行が遅くなつてしまいましたが、これまでにならぬくらい、この議会だよりを刷新して、大幅に体裁や内容を刷新しました。

まだまだ工夫の余地はたくさん残っています。これからは、全国の町村議会の広報紙の中の一冊として、二を争うくらいの質の高いものにしていくよう、努めて参ります。

より町民の皆様がわかりやすく、気軽に読んでもらえるような紙面で、情報開示に積極的に取り組み、議会との距離が縮まるような広報誌を目指します。

また、テンプ起こしをした議会原稿を議会HP上で閲覧できるようにしました。ぜひこれからの変化を楽しみにして頂けたらと思います。

(石橋)

### 議会広報特別委員会

|      |    |     |
|------|----|-----|
| 委員長  | 山岸 | フミ子 |
| 副委員長 | 石橋 | 明日香 |
| 委員   | 大塚 | 純一郎 |
|      | 中野 | 大徳  |
|      | 目黒 | 仁也  |
|      | 小沼 | 信孝  |